

事前質問等への回答

質問 1

改修、増築しても近い未来またしないといけなくなるので、この際、新校舎の建設を希望。昔と違って暑さも異常なため、勉強に集中できる快適な設備を希望。
ただ、毎日の送迎は厳しいため、バスがあると助かります。

回答 1

稲枝の3小学校はどの校舎も古く、説明資料 15 ページで示しているとおり、今後、約 30 億円の改修費が必要となります。説明資料 14 ページで例示している D 案は、中学校敷地に新しい小学校の校舎を建設するもので、中学校体育館等の改修も含めて、快適な教育環境での学習が可能となります。

また、説明資料 4 ページで示しているとおり、国の基準では、小学校の通学距離は概ね 4km 以内となっており、それを超える場合にはスクールバス等での登校支援が必要と考えています。なお、この 4 km 以上という条件をさらに拡大すると、その分バスの運行経費が増大しますので、今後、検討していく必要があります。

質問 2

一刻も早く3小学校の統合、もしくは西小と北小の統合を進めるべき。
小人数の固定化された人間関係、競い合いづらい環境では子どもが育ちにくい。
小規模でも教員配置、プールの水や日々の電気代などは必要であり、多額の税金が投入されることになる。統合したとしても、小中学校規模校であることからインフラ面は 1/3 で済む。
以前のアンケート結果で 3 校を残し、伝統を守るという意見が高齢の方の意見で多く、子育て世代の意見が反映されていないと感じる。

回答 2

ご意見いただいているとおり、児童にとってより良い教育環境を実現するためには一定規模の児童数が必要です。また、3校が統合すれば、標準規模校として児童数に応じた教員が配置されます。さらに電気代や各種点検費用など学校維持管理にかかる費用、また、今後の学校施設の改修費用が1校分で済むことになります。

質問 3

統合される方向で話が進んだとして統合される時期の目途はついているのでしょうか。

回答 3

今後、順調に統合への議論が進み、来年度前半までに具体的な統合案ができた場合、その後の設計、工事等の期間を考慮すると、新しい校舎での授業開始は、最短で令和 13 年度になる予定です。

具体的には、設計費用、工事費用の予算化、実際の工事実施、授業カリキュラムなど統合後の学校生活の準備等、統合案の決定から実際の開校までには、一定の時間がかかると見込んでいます。